

第３次高槻市障がい者基本計画
並びに高槻市第８期障がい福祉計画及び第４期障がい児福祉計画策定
に向けたアンケート調査の基本設計

■アンケート調査の狙い

- ・調査票は、国、大阪府の動向や過去に本市が実施したアンケート調査の内容を踏まえ、経年変化を確認する。
- ・調査対象者が利用しているサービス種類ごとに、今後のサービス利用意向（潜在ニーズ）を把握し、サービス見込量の推計に繋げる分析ができるような設問を設ける。
- ・調査票の作成にあたっては、障がい特性に応じた配慮をする。

■アンケート調査対象

属性	調査対象者数	
	障がい者(18歳以上)	障がい児(18歳未満)
身体障がい者	1,400人	1,000人
知的障がい者	400人	
精神障がい者	600人	
自立支援医療 (精神通院医療) 受給者	800人	
特定医療費 (指定難病) 受給者	400人	
合計	4,600人	

※調査時時点での抽出結果次第では、調査対象者数が多少増減する可能性がある。

※障がい児の調査対象者には、障がい者手帳未所持かつ障がい児サービス受給者も含む。

■アンケート調査にあたり

- (ア) 大きな文字を使用し、ルビ振りやUD フォント等の見やすい書体を使う。
- (イ) Uni-Voice 等音声コードを作成し、調査票に「切り欠き」加工を付す。

【資料３－１】

(ウ) スクリーンリーダー（音声読み上げソフト）に対応したテキスト形式のデータを作成する。

(エ) ユニバーサルデザインに配慮する。 など

- ・ インターネットによる回答が可能となるよう、電子申請フォームを作成し、調査票には電子申請フォームの二次元コードを付す。 また、電子申請フォームは本市の調査事業であることを明示する。
- ・ 調査票は、上記表の障がい者及び障がい児に対応した２種類を作成する。集計結果はアンケート回答内容のデータ入力及び集計、自由記述のとりまとめを行い、表やグラフ等を活用し、作成する。